

不易流行

～和賀組社長からのメッセージ～

VOL.108 (2025.3.27)

令和6年度スローガン
過去最高業績への挑戦
～和賀組さんで良かったと言われよう～

株式会社和賀組 代表取締役 和賀幸雄

♪秀麗無比なる鳥海山よ～♪で始まる秋田県民歌、秋田県民であれば誰でも聞いたことがあり、歌ったことがある人も多いのではないのでしょうか？毎年8月末に開催される大曲の花火「全国花火競技会」のフィナーレでは、津雲優さんの「いざないの街」が流れ、その中に秋田県民歌が挿入されております。多くの観光客が感動で感極まり「また来たい」と思わせる演出だと思えます。一般的には2番の♪廻らす山々霊気をこめて～♪までが歌われていますが、実は4番まで歌詞があるのをご存知でしょうか？ちなみに3番は♪篤胤(あつたね)信淵(しんえん)巨人の訓(おしえ)♪と続きますがなぜ歌われなくなったのでしょうか？

話は幕末まで遡ります。慶応4年（1868年）鳥羽伏見の戦いで旧幕府軍が負け江戸城が無血開城されると、新政府は東北諸藩へ会津庄内追討を命じました。これに対し奥州諸藩は仙台米沢が主導して奥羽列藩同盟を結成、会津庄内救済に動き出し秋田藩もこれに参加しました。しかし交渉が不調に終わり、奥羽列藩同盟と新政府とは全面戦争の様相を呈



するようになりました。秋田藩内では同盟派と勤王派が激しく対立したのですが、もともと秋田は勤王思想（天皇を尊び天皇を旗印にした政治を行うことを主張する思想）が強い地域で最終的には当時の藩主佐竹義堯が「我に於いて勤王に一決せり」と同盟離脱を決断したのです。

その時代に最も大きな影響を与えたのが、歌詞に出てくる国学者・神道家・思想家・医者であった平田篤胤でした。平田等が創設した「雷風義塾」には平田国学を信奉する者が多く集まり、秋田藩の藩論を左右するほどの勢力を持ったのです。日本の古典に関する学問を切り開いた学者として、いまでも日本史や国語の教科書に登場する本居宣長のもとで国学者となり多くの門人を輩出した篤胤ですが、なぜ秋田県民歌の3番が歌われなくなったのでしょうか？秋田県には列藩同盟の一員として支藩の亀田藩や旧南部藩領（鹿角地域）も含まれているため、それらの地域への配慮から歌われなくなったのだそうです。ちなみにその後の歌詞は♪久遠に輝く北斗と高く 錦旗を護りし戊辰の栄は 矢留の城頭 花とぞ薫る 歴史はかぐわし 誉の秋田♪力が漲るような良い歌詞だとは思いますが、そういう事情があるのだそうです。ちなみに墓所は秋田市手形の秋田大学裏にあります。一度お参りに行きたいものです。第62期も数日となりました。最後まで気を抜かずゴールのテープを切り、新たな63期に向かって参りましょう。

シリウスグループ 20 連覇

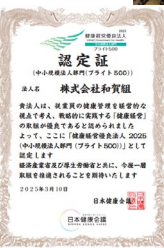


3/10 盛岡グランドホテルに於いて、岩手県住宅着エランキングで20年連続で1位という偉業を成し遂

げた祝賀会に参加して参りました。当社は昨年から地盤改良でお世話になっておりますが、創業者で秋田出身の佐藤幸夫シリウスグループ代表の挨拶にはなるほどと感心させられることが沢山ありました。3/12の秋田さきがけ新報にも掲載されておりましたので、読まれた方も多いのではないのでしょうか。その経営手法には学ぶべき事が多いと感じました。

健康経営優良法人ブライツ 500

「健康経営優良法人2025」が発表され当



社は今年もブライツ 500 の認定を受けることができました。3/17にアクサ生命が主催した祝賀フォーラムで弊社取り組みを発表させて頂きました。何と言っても皆さん早期発見早期治療です!!

日本商工会議所総会



3/19 帝国ホテルにおいて日本商工会議所の通常会員総会が開催されました。挨拶の中で小林健会頭は、中小企業においても賃上げ原資確保の為に自己変革による生産性向上と付加価値の創出が必要であり、併せて適正な価格転嫁が重要であるとしました。